

第3期標茶町地球温暖化防止実行計画進行管理

本町では、町の事務事業で排出する温室効果ガス（主に二酸化炭素）の抑制を目的に「第3期標茶町地球温暖化防止実行計画（令和3年度～令和7年度）」を策定しています。
計画の対象は町有施設や公用車などで、毎年度結果を公表しています。

◎令和7年度の状況（進行管理）を公表します。

（△は減）

区 分	基準年度 （平成25年度） 排出量	令和7年度実績		
		排出量	増減量	増減率
ガソリン	160 t	164 t	4 t	2.5 %
軽油	897 t	659 t	△ 238 t	△ 26.5 %
灯油	674 t	973 t	299 t	44.4 %
A重油	2,122 t	949 t	△ 1,173 t	△ 55.3 %
LPガス	45 t	31 t	△ 14 t	△ 31.1 %
電気	2,799 t	2,635 t	△ 164 t	△ 5.9 %
廃プラ一般	1,101 t	1,440 t	339 t	30.8 %
廃プラ産廃	14 t	32 t	18 t	128.6 %
合 計	7,812 t	6,883 t	△ 929 t	△ 11.89 %

※廃プラスチックは焼却量です。

【第3期 実行計画の排出量削減目標】

基準年度（平成25年度）	削減目標	目標年度（令和7年度）
7,812t	⇒ <u>△23%</u> ⇒	6,016t
	※毎年4.6%削減	

結果分析

- ・基準年度と比べて、二酸化炭素の排出量は929t、11.89%の減少となりました。主な要因は軽油・A重油等使用量の減少によるものです。
- ・軽油については、町有車両の計画的な入れ替え、配置により、軽油からガソリンに代わったことによるもので、A重油については、各施設の改築・廃止により二酸化炭素の排出量が減少しています。
- ・電気については、施設のLED化により二酸化炭素排出量は減少しているものの、使用量は増加しております。

・ごみとして出る廃プラスチック類が基準年度に比べ大幅に増加しており、二酸化炭素排出量が増えています。これは、燃やせるごみの中に混ざっている廃プラスチック類の割合が増加していることが原因です。標茶町ではプラスチック製容器包装（プラマーク付）を無料で回収しています。各家庭での資源ごみの分別にご協力をお願いします。

本町は2022年3月に脱炭素を目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。役場全体でさらなる排出量の削減に向け、引き続き環境に配慮した車の入れ替えや業務の見直し、節電などに積極的に取り組んでまいります。皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

令和7年度二酸化炭素排出量構成

